



はぐくむ
愛

教育文化

北海道で唯一藍畑がある伊達は、藍染め文化の発信地となっている

学ぶ喜びと 生きがいと

伊達は、縄文からアイヌ文化、
武家文化が息づくまち。
学ぶことを楽しむ市民が多いのが特長で、
文化・芸術活動が盛んとなっています。



市民劇団の公演も行われる「だて歴史の杜カルチャーセンター」

総合公園だて歴史の杜には、文化活動を支える施設が点在します。「だて歴史の杜カルチャーセンター」(愛称あけぼの)は、演劇やコンサートを鑑賞したり、各種セミナーやサークルなど、市民の文化活動・生涯学習の拠点です。「黎明観」には、伊達特産の藍を用いて藍染め体験ができる「藍工房」や、刀剣製作を見学できる「刀鍛冶工房」があり、伝

●だて歴史の杜
文化に親しみ、伝統の技を体験



藍染めを体験したり、刀づくりを見学できる「黎明観」



洋画家・野田弘志氏と永山優子氏による絵画教室「野田・永山塾」のようす

統文化を伝えていきます。噴火湾を望む丘で絵画や歴史を学ぶ「噴火湾文化研究所」

「伊達市噴火湾文化研究所」は、縄文時代から現代まで、噴火湾の豊かな海に育まれた文化を調査・研究し、その研究成果をまちづくりに生かすための研究所です。芸術文化を育む事業を総合的に展開する「だて噴火湾



縄文やアイヌ文化・芸術活動の拠点「伊達市噴火湾文化研究所」

アートビレッジ」も進められており、伊達近郊にアトリエを構える洋画家の野田弘志氏と門下生の永山優子氏による絵画教室をはじめ、さまざまな活動が行われています。



大滝工芸館



陶芸風景



土のぬくもりに癒される
●大滝工芸館

緑にかこまれた「大滝工芸館」は、伊達のやきもの文化の拠点です。3種類の窯があり、創作や絵付けなどを学ぶ陶芸教室が開かれています。毎年秋には「伊達市おたき北海道陶芸展」が開催されており、これまでの入賞作品は展示室で見ることが出来ます。



宮尾登美子文学記念館



「宮尾本 平家物語」の原稿

平成21年度「文化功労者」に選ばれた作家の宮尾登美子さんは、「宮尾本 平家物語」執筆のために平成11年から15年まで伊達近郊に居を構え、多くの市民と交流を重ねられました。総合公園だて歴史の杜内の「宮尾登美子文学記念館」では、宮尾文学の軌跡や「宮尾本 平家物語」に関する貴重な資料を展示しています。

【コラム】
宮尾文学とだて